

年齢、ライフスタイルに合わせ多様化

ものの話

★乳がん

ブラジャーがない。
6年前、乳がんを右胸の
検出手術を受けた東京都
の加藤ひとみさん(48)
は、退院の日には専ら
手術前に使っていたブラ
ジャーは、金属ワイヤ
が傷に当たるのが怖くて

ブラジャー<下>

つけられない。つけても
片側に膨らみがないた
め、安定せず、ずり上が
ってしまう。
退院後、乳がんの患者
専用のブラジャーを探し
たが、失念した。普通

しかない思
ったと加藤
さんは話す。
加藤さんが
考え出したの
は、右胸と左
胸に分かれる
ツーピースの
ブラジャー。
切除した時は
見せたくない。加藤さ
んがツイース型を思い
ついたのは、そんな女性
たちの悩みを聞いたた
りだ。片側だけにつけら
れるブラジャーがあれば、
悩みは解消される。
京都市の下着メーカー
が製造を引き受け、09年
秋、発売にまつけた。



左右に分かれたツイースのブラジャーを開発した加藤ひとみさん

000枚が売れている。
「乳房が無い」と名は
ない、と言っ心ない人も
いる。乳がんをわすれ
た女性が、今また変わ
らぬ人生を送る。精
神的な手助けにブラッ
ジャーがなれば、と加藤さん
は話す。

★ワイン

女性の数だけブラッ
ジャーの理想型はあるといわ
れる。一人一人体形や年
齢、ライフスタイル、好
みが違う。最近、こうし
た要望に応えるブラッジャー
が多様化してきた。

「ワコール」は90年代
末から、更年期にかわる
40代以上に向けた「ツイ
エッセ」や、筋力が低下
している60代以上向けの
「アラブビー」を相次いで
開発した。ともに40年
にわたって、日本女性の体

の変化を計測し、を豊かにする効果がある
た研究成果を反
からたとい
「肌に触れる着は女
性に近い。着る最
性に近く、フ
ライベイト存在。キレ
イな色ならがはずむ
50は同年代の知人が、
し、大切な仕事では勝負
苦しいブラジャーは、本
用ブラジャーをつけて
楽したい」と言ったのを
聞き、よせたり上げたり
するだけでなく、年齢に
応じたのが必要だと気が
付いたという。

「女性にとってブラッ
ジャーはインのようなを
経験が蓄積され、ブラッ
ジャーはどんどん進化して
整えるだけでなく、心
になる」

ブラジャーが普及して
50年あまり、女性たちの
意識が蓄積され、ブラッ
ジャーはどんどん進化して
整えるだけでなく、心
になる」

【関係者】



年齢の女性向けの商品が多い東京・新宿の京王百貨店下着売り場では、ワコールの「ツイエッセ」「アラブビー」が人気だ。尾藤章樹が

2003年11月22日
毎日新聞より。